

あまのこころ

あまのこころがあつた

あかのいろをひびいて

太陽のほつぷりむけるこ

すまごめつこ

きれいにみえたよつな

きがした

太陽にむけるこ

きつぎ

きつぎ

いつまできつぎつひかる

いそいでぶら

いえにかえってきた時

夜ごほんをまっていた

ボールであそんでいた

バスケットであそんでいた

夜ごほんは、

チースケーキとごんだった

おいしかった

その後、おにいちゃんであそんだ

朝ごほんもチースケーキだった

おいしかった

I・Y

炎のよつな夕日

雲のなごり

カーテンを開けるこ

炎のよつな夕日が

しずんぐりく

何日たっても

しずんぐりく

でも

何回だつて登つてく

まるで夕日が

山登り名人みたい

夕日がしずんだ

「ナメクジな夕日」

心で言った

U・Y

雪虫

雪虫がいた

つかまえるつといたら

あつちへとんでこつちへとぶ

ぼたぼたぼた

いつのまにかま

ぼたぼたぼた

どこかへとんでも

ぼたぼたぼた

あれ、どつちへのか

雪虫

O・A

実が「んんん

木があつた

木から実があつた

「んんんんんん

風が強くて

またこころが

かわいくな

どつちへたつた

「んんんんんん

人があめをおとつて「んんんん

こころがみたいた

風がふいた

またこころが

あれ、どつちへ行つちや

木の实

K・E

K・S

一人ぼっち

ママが「いよでるすほんをした

ちよとみしかった

「まだかな

「まだかな」って

心の中で思った

いつまでましてもママがかえつて「んん

ちよとみしかった

ほつとした

S・H

ハジメハジメの扉

S・K

おぼろげな夕べ

S・H

ふじぎな回りの扉

T・N

かれ葉が道にこぼれ
―い進んだ
あつぱつぱつ
つぱつぱつ
走っつぱつぱつ
まゝで、かれ葉がいたいたいた
いついてみる

千力千力

T・Y

おどりだす
くるくる
げんきよく
まいおどる
じょうずは
いちろうさん
かんぼれ
かんぼれ
いつまでおどる

しん号があった
近づいてみると
千力千力光りだした
ボタンをおしても
千力千力光る
赤青黄色とろってる
車が来ても千力千力千力
人が来ても千力千力千力
いつまで光る
しん号さん

草むら行つた
回つばをけがらした
山のうへへ
「回つばだ」と言つた
山のうへへへへへ
足もどいてはいた
まうこんだいた
風がふいた
やつと風がおさまつた
回つばがなくなつた
ちやんとつかんでいたのに
なくなつた
頭の上にあつた
「回つばだ」と言つた
私は
ふじぎな気分になつた

葉っぱのダンス

葉っぱがおちていって

きょうの風がふいてきて

あつたあつたあつた

からからかなう

葉っぱがダンスを

おやっっているみたいだ

からからかなう

なんだかどうとも

楽しくなった

T・S

スケート場みたいな公園

兄ちゃんとおにいちゃんをした

草原の方に行ったり

兄ちゃんがつるつるこいて

ころんといた

兄ちゃんが

「まだない」と言った

たおれている間に

タッチをした

次に

自分もころんだ

兄ちゃんがバカにしてわらっていた

私はまるで兄ちゃんを

スケート場の公園に

行ったみたいだった

N・A

N・M

デュエマ

きのつ6人デュエマをした

千ーんせんでやった

3人3人でわかれた

バトルがはじまった

相手は、つよいカードをだしてきた

ほくらもつよいカードをだした

みんなにうけさせられた

さいしょにハルキがやられた

次にほくらがうけました

けいたもうけました

1人をたおした

次のターンにやられた

負けた

負けた

くやしかった

でも何だかいいデュエマになった

また6人でやろうと思っデュエマ

N・K

土星のようなか

土星のようなか

太陽のまわりにはまきていた

そのまわりにはじがまきていた

じいじは上、下、横にはまきていた

わは、くもだった

きれいだった

「ふあん」

「ふあん」

太陽はまるでじんじみたいだ

けん道

けん道に行く前

ねておかないと

車でねてしまっ

やっている時も

ねてしまっ

けん道がある日は

いつもねむい

